



Aras Innovator Internet Explorer


クライアントコンフィギュレーション



Aras Innovator 9.4

Document #: 9.4.012282009

Last Modified: 5/12/2014

| | |
|---|---------------------------------|
| aras INNOVATOR [®] | Additional Info |
| Microsoft Enterprise Solutions with Unlimited Users | ▶ Documentation |
| Download Now | ▶ Training |
|  | ▶ Support |

ARAS CORPORATION

Copyright © 2013 Aras Corporation. All rights reserved

Aras Corporation
300 Brickstone Square
Suite 700
Andover, MA 01810

Phone: 978-691-8900
Fax: 978-794-9826

E-mail: Support@aras.com
Website: <http://www.aras.com>

Notice of Rights

Copyright © 2013 by Aras Corporation. This material may be distributed only subject to the terms and conditions set forth in the Open Publication License, V1.0 or later (the latest version is presently available at <http://www.opencontent.org/openpub/>).

Distribution of substantively modified versions of this document is prohibited without the explicit permission of the copyright holder.

Distribution of the work or derivative of the work in any standard (paper) book form for commercial purposes is prohibited unless prior permission is obtained from the copyright holder.

Aras Innovator, Aras, and the Aras Corp "A" logo are registered trademarks of Aras Corporation in the United States and other countries.

All other trademarks referenced herein are the property of their respective owners.

Notice of Liability

The information contained in this document is distributed on an "As Is" basis, without warranty of any kind, express or implied, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose or a warranty of non-infringement. Aras shall have no liability to any person or entity with respect to any loss or damage caused or alleged to be caused directly or indirectly by the information contained in this document or by the software or hardware products described herein.



Table of Contents

| | |
|---|-----------|
| ご意見をお寄せください | 5 |
| 概要..... | 6 |
| 1 INTERNET EXPLORER とクライアント設定 | 7 |
| 1.1 ソフトウェアのインストール..... | 7 |
| 1.1.1 Internet Explorer のバージョンチェック..... | 7 |
| 1.2 推奨設定..... | 7 |
| 1.2.1 Internet Explorer 10 の設定..... | 7 |
| 1.2.2 Internet Explorer 9 の設定..... | 8 |
| 1.2.3 Internet Explorer 8 の設定..... | 10 |
| 2 ポップアップブロッカー | 12 |
| 3 .NET フレームワーククライアント設定 | 12 |
| 4 トラブルシューティング | 13 |
| 4.1 ARAS INNOVATOR ウィンドウへのファイルの表示..... | 13 |
| 4.1.1 Innovator ウィンドウでファイルを開かないようにする IE の設定..... | 13 |
| 4.2 MSXML..... | 13 |
| 4.3 WINDOWS DESKTOP の機能拡張に他のアプリケーションをインストールしたことにより、INTERNET EXPLORER の ACTIVE X コントロールが無効になる場合..... | 13 |
| 4.4 ログイン画面の表示に異常に時間が掛かってしまう..... | 14 |
| 4.4.1 プロキシ自動検出の無効化..... | 14 |
| 4.5 INNOVATOR が 64 ビットの IE で読み込もうとする | 15 |
| APPENDIX..... | 17 |



ご意見をお寄せください

弊社では、当ドキュメントの品質及び有用性に関する皆様からのご意見をお待ちしております。以下のような皆様からのお声を、将来の改定時の重要な参考とさせていただきます。

- エラーを発見した
- 情報が明確に記載されていない
- XX に関する XX レベルでの更なる詳細情報が必要
- 例が正しく無い / 更に多くの例が必要
- 気に入っている機能

改善のための提案がございましたら、文章タイトル、チャプター、セクション、ページ番号を分かる範囲で添えてご連絡ください。

以下の方法でご意見をお寄せ頂けます：

- E-mail: support@aras.jp
表題: Aras Innovator ドキュメントについて

又は,

- 郵送:
〒160-0022
東京都新宿区新宿 1 丁目 8 番地 4 JESCO 新宿御苑ビル
アラスジャパン合同会社
宛先 : Aras Innovator ドキュメントについて

又は,

- FAX:
03-6273-2550
表題 : Aras Innovator ドキュメントについて

返答が必要な場合は、お名前、メールアドレス、電話番号をご記載ください。

ソフトウェアの使用に関する問題は、以下のサイトをご参照ください：

<http://www.aras.jp/support/>



概要

このドキュメントは、**Aras Innovator** を利用するためのクライアントマシンに対する基本的な設定内容について説明します。

Internet Explorer Web ブラウザクライアントに関して、基本的な部分のみ記載しています。



1 Internet Explorer とクライアント設定

1.1 ソフトウェアのインストール

Aras Innovator 9.4 を利用するには、Microsoft Internet Explorer version 10, 9, or 8 をインストールしてください。

1.1.1 Internet Explorer のバージョンチェック

- 1) Internet Explorer ウィンドウを開く
- 2) メニューバーのヘルプ→バージョン情報を実行
 - a. バージョン番号が 8.0 以前の場合、Microsoft®の Web サイトからアップグレードソフトをダウンロード&インストールしてください

1.2 推奨設定

このセクションに書かれている変更を実行するユーザーは、Windows のアドミニストレータグループに属している必要があります。

1.2.1 Internet Explorer 10 の設定

クライアント PC にアドミニストレータでログインして、下記のように Internet Explorer を設定してください。

1. Internet Explorer ウィンドウを開く
2. ウィンドウ上部右側より、ツール→インターネットオプションを選択
 - a. “セキュリティ” タブを選択
 - i. “信頼済みサイト” ゾーンを選択
 1. サイトボタンを選択
 - a. Innovator の URL をゾーンに追加
 2. プロテクトモードを “有効” に設定 - 無効
 - ii. “レベルのカスタマイズ” のボタンを選択して下記のように設定してください。(画面をスクロールして下記の設定を実施)
 1. .NET Framework 依存コンポーネント
 - a. Authenticode で署名したコンポーネントを実行する - 有効
 2. ActiveX コントロールとプラグイン
 - a. ActiveX フィルターを有効にする - 無効
 - b. 署名された ActiveX コントロールのダウンロード - 有効
 - c. ActiveX コントロールとプラグインの実行 - 有効
 - d. スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行 - 有効
 3. ダウンロード
 - a. ファイルのダウンロード - 有効
 4. その他
 - a. Web サイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する - 有効
 5. スクリプト
 - a. アクティブスクリプト - 有効
 - b. “全般” タブを選択



- i. “閲覧の履歴” セクションにある “設定” ボタンをクリック
 - 1. “保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認” で ‘自動的に確認する’ を選択
 - 2. OK を選択
- ii. “タブ” セクションにある “設定” ボタンをクリック
 - 1. “ポップアップの発生時” セクションで常に新しいウィンドウでポップアップを開くを選択。（Internet Explorer に最小設定でポップアップウィンドウを開く方法を設定）
- c. “詳細設定” タブを選択
 - i. ブラウズ
 - 1. スクリプトのデバッグを使用しない (Internet Explorer) – 有効
 - a. Aras をクライアントマシンでデバッグしない場合は、この設定を無効にしておく（チェックを付ける）ことを推奨します。これは推奨要件で必須要件ではありません。詳細は次のドキュメントを参照ください。 [Windows Desktop の機能拡張に他のアプリケーションをインストールしたことにより、Internet Explorer の ActiveX コントロールが無効になる場合](#)
 - 2. スクリプトのデバッグを使用しない (Other) – 有効
 - a. Aras をクライアントマシンでデバッグしない場合は、この設定を無効にしておく（チェックを付ける）ことを推奨します。これは推奨要件で必須要件ではありません。詳細は次のドキュメントを参照ください。 [Windows Desktop の機能拡張に他のアプリケーションをインストールしたことにより、Internet Explorer の ActiveX コントロールが無効になる場合](#)
 - 3. スクリプトエラーごとに通知を表示する – 無効
 - ii. セキュリティ
 - 1. 保護モードを有効にする* - 無効
 - a. この設定を有効にすると、64 ビット iexplore.exe プロセスを使用して、Aras Innovator では現在まだサポートされていない IE10 を強制実行します。
- d. OK を選択

Aras Innovator にアクセスする時には、IE10 の互換表示機能を使わないことを推奨します。互換表示機能で実行されているウェブサイトを見る方法は、下記の通りです。

1. Internet Explorer ウィンドウを開く
2. メニューバーから、ツール→互換表示設定を選択
新しいウィンドウで“互換表示機能”に追加したウェブサイトのリストが出る
3. Aras Innovator に関連する全てのサイトをリストから削除

1.2.2 Internet Explorer 9 の設定

クライアント PC にアドミニストレータでログインして、下記のように Internet Explorer を設定してください。

1. Internet Explorer ウィンドウを開く
2. メニューバーより、ツール→インターネットオプションを選択
 - a. “セキュリティ” タブを選択



- i. “信頼済みサイト” ゾーンを選択
 - 1. サイトボタンを選択
 - a. Innovator の URL をゾーンに追加.
 - 2. プロテクトモードを“有効”に設定 (*Windows7 と Vista のみ*) - 無効
- ii. “レベルのカスタマイズ”のボタンを選択して下記のように設定してください。
(画面をスクロールして下記の設定を実施)
 - 1. .NET Framework 依存コンポーネント
 - a. Authenticode で署名したコンポーネントを実行する - 有効
 - 2. ActiveX コントロールとプラグイン
 - a. ActiveX フィルターを有効にする - 無効
 - b. 署名された ActiveX コントロールのダウンロード - 有効
 - c. ActiveX コントロールとプラグインの実行 - 有効
 - d. スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行 - 有効
 - 3. ダウンロード
 - a. ファイルのダウンロード - 有効
 - 4. その他
 - a. Web サイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する - 有効
 - 5. スクリプト
 - a. アクティブスクリプト - 有効
- b. “全般” タブを選択
 - i. “閲覧の履歴” セクションにある “設定” ボタンをクリック
 - 1. “保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認” で ‘自動的に確認する’ を選択
 - 2. OK を選択
 - ii. “タブ” セクションにある “設定” ボタンをクリック
 - 1. ポップアップの発生時” セクションで常に新しいウィンドウでポップアップを開くを選択。 (*Internet Explorer* に最小設定でポップアップウィンドウを開く方法を設定)
- c. “詳細設定” タブを選択
 - i. ブラウズ
 - 1. スクリプトのデバッグを使用しない (*Internet Explorer*) - 有効
 - a. Aras をクライアントマシンでデバッグしない場合は、この設定を無効にしておく (チェックを付ける) ことを推奨します。これは推奨要件で必須要件ではありません。詳細は次のドキュメントを参照ください。 [Windows Desktop の機能拡張に他のアプリケーションをインストールしたことにより、Internet Explorer の ActiveX コントロールが無効になる場合](#)
 - 2. スクリプトのデバッグを使用しない (*Other*) - 有効
 - a. Aras をクライアントマシンでデバッグしない場合は、この設定を無効にしておく (チェックを付ける) ことを推奨します。これは推奨要件で必須要件ではありません。詳細は次のドキュメントを参照ください。 [Windows Desktop の機能拡張に他のアプリケーションをインストールしたことにより、Internet Explorer の ActiveX コントロールが無効になる場合](#)
 - 3. スクリプトエラーごとに通知を表示する - 無効
 - d. OK を選択
- 3. メニューバーから、ツール→互換表示設定を選択



- a. “互換表示に追加した Web サイト” のリストに Aras Innovator Server を追加
- b. 閉じるを選択

1.2.3 Internet Explorer 8 の設定

クライアント PC にアドミニストレータでログインして、下記のように Internet Explorer を設定してください。

1. Internet Explorer ウィンドウを開く
2. メニューバーより、ツール→インターネットオプションを選択
 - a. “セキュリティ” タブを選択
 - i. “信頼済みサイト” ゾーンを選択
 1. サイトボタンを選択
 - a. Innovator の URL をゾーンに追加
 2. プロテクトモードを“有効”に設定 (*Windows7 と Vista のみ*) - 無効
 - ii. “レベルのカスタマイズ” のボタンを選択して下記のように設定してください。
(画面をスクロールして下記の設定を実施)
 1. .NET Framework 依存コンポーネント
 - a. Authenticode で署名したコンポーネントを実行する - 有効
 2. ActiveX コントロールとプラグイン
 - a. 署名された ActiveX コントロールのダウンロード - 有効
 - b. ActiveX コントロールとプラグインの実行 - 有効
 - c. スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行 - 有効
 3. ダウンロード
 - a. ファイルのダウンロード - 有効
 4. その他
 - a. Web サイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する - 有効
 5. スクリプト
 - a. アクティブスクリプト - 有効
 - b. “全般” タブを選択
 - i. “閲覧の履歴” セクションにある “設定” ボタンをクリック
 1. “保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認” で ‘自動的に確認する’ を選択
 2. OK を選択
 - ii. “タブ” セクションにある “設定” ボタンをクリック
 1. “ポップアップの発生時” セクションで常に新しいウィンドウでポップアップを開くを選択。 (*Internet Explorer に最小設定でポップアップウィンドウを開く方法を設定*)
 - c. “詳細設定” タブを選択
 - i. ブラウズ
 1. スクリプトのデバッグを使用しない (Internet Explorer)
 - a. Aras をクライアントマシンでデバッグしない場合は、この設定を無効にしておく (チェックを付ける) ことを推奨します。これは推奨要件で必須要件ではありません。詳細は次のドキュメントを参照ください。 [Windows Desktop の機能拡張に他のア](#)



[アプリケーションをインストールしたことにより、Internet Explorer の ActiveX コントロールが無効になる場合](#)

2. スクリプトのデバッグを使用しない (Other)
 - a. Aras をクライアントマシンでデバッグしない場合は、この設定を無効にしておく (チェックを付ける) ことを推奨します。これは推奨要件で必須要件ではありません。詳細は次のドキュメントを参照ください。[Windows Desktop の機能拡張に他のアプリケーションをインストールしたことにより、Internet Explorer の ActiveX コントロールが無効になる場合](#)
3. スクリプトエラーごとに通知を表示する - 無効

d. OK を選択

Aras Innovator にアクセスする時には、IE8 の互換表示機能を使わないことを推奨します。Web サイトが互換表示モードで実行されたとき、下記のように対応してください。

1. Internet Explorer ウィンドウを開く
2. メニューバーから、ツール→互換表示設定を選択



2 ポップアップブロッカー

Internet Explorer version 8 以降には、ポップアップブロッカーやインターネット上のコンテンツをダウンロードしようとした時に表示するセキュリティワーニングなどが組み込まれています。また、Microsoft Internet Explorer 向けに提供されているアドオンにもポップアップブロッカー機能を有しているものがあります。Aras Innovator を利用する場合は、ポップアップブロッカーのドキュメントを参照して、クライアント PC に対し Aras Innovator をポップアップブロックの対象外に設定することを推奨します。

3 .NET フレームワーククライアント設定

このドキュメントでは、Aras Innovator をクライアント PC から Internet Explorer を使って利用するために必要な設定の概要を説明しています。システム管理者は Aras Innovator を利用できるように、クライアント PC に .NET フレームワーククライアントの設定が完了しているかを事前確認しておく必要があります。

Aras Innovator - .NET Client Configuration ドキュメントには、IT 部門が .NET フレームワークセキュリティポリシーをクライアント PC に展開する方法が説明されています。当ドキュメントでは、.NET フレームワーク 3.5 SP1 の設定に関して記載されています。

当ドキュメントは <http://www.aras.com/support/> にアクセスするか、Aras Innovator の CD イメージにある Documentation フォルダを参照ください。



4 トラブルシューティング

4.1 Aras Innovator ウィンドウへのファイルの表示

いくつかのファイルタイプでは、デフォルトの表示用プログラムとして **Internet Explorer** が用いられます。このセクションでは、XML ファイルを開く場合を例にとって説明します。通常、XML ファイルを開く場合は **Internet Explorer** がビューワーとして使われ、既に開いている **Internet Explorer** のウィンドウがある場合は、そのウィンドウで XML ファイルを表示するようにデフォルト設定されています。もしこのファイルが **Aras Innovator** のウィンドウで開かれてしまうと、このウィンドウに対して **Aras Innovator** セッションが無効化されてしまうこととなります。特に **Aras Innovator** のメインウィンドウで開かれた場合、そのユーザーのセッション全体が無効になってしまいます。

この問題に対し、2つの解決策があります。一つはファイルの関連付けを変更して、**Internet Explorer** 以外のビューワーでファイルを開くようにする方法です。もう一つは、既存の **Internet Explorer** ウィンドウで表示する設定を無効化する方法です。これにより、既存のウィンドウではなく新規の **Internet Explorer** ウィンドウでファイル表示されるようになります。

後者の設定について、下記セクション 4.1.1 を参照ください。

4.1.1 Innovator ウィンドウでファイルを開かないようにする IE の設定

1. **Internet Explorer** を開く
2. メインメニューから、ツール→インターネットオプションを選択
3. 詳細設定タブを選択
4. “ブラウザ”セクションの“ショートカットの起動時にウィンドウを再使用する”オプションのチェックを外す

4.2 MSXML

Aras Innovator はクライアントに **MSXML4 SP3** が必要です。PCによってはインストールされていないことがあるので、その場合は **Microsoft** のウェブサイトからインストールしてください。

4.3 Windows Desktop の機能拡張に他のアプリケーションをインストールしたことにより、Internet Explorer の ActiveX コントロールが無効になる場合

チャットプログラムなどの **Windows Desktop** を機能拡張する特定のアプリケーションをインストールすると、**Desktop** の一機能のように動くものがあります。このようなアプリケーションを使っている場合、**Aras Innovator** の UI コントロール（メニュー、グリッド、ツリーなど）を使う時に下記の様なプロンプトが表示されることがあります。

Click to activate and use this control



この現象は、機能拡張アプリケーションにより、Internet Explorer がスクリプトデバッグステートを誤認してしまうことにより起こります。機能拡張アプリケーションが実行されると、Windows メッセージが全てのトップレベルウインドウに送られます。そして、Internet Explorer がそのメッセージを受け取ると、スクリプトデバッグステートを誤認し、内部のスクリプトデバッグを無効化します。これが、ページロード時の上記プロンプトの出現に繋がるのです。

この問題は Internet Explorer の将来的なアップデートにより解決されるべき問題です。現時点において、Aras ではクライアント PC マシンにおけるスクリプトデバッグ機能を無効にすることを推奨します。Internet Explorer のスクリプトデバッグを無効化する手順は [Internet Explorer とクライアント設定](#) に記載しています。スクリプトデバッグ機能を無効にしない場合の回避策としては、このエラーが生じた場合、一度 Aras Innovator をログアウトしてクライアントキャッシュをリフレッシュした後に再度ログインしてください。

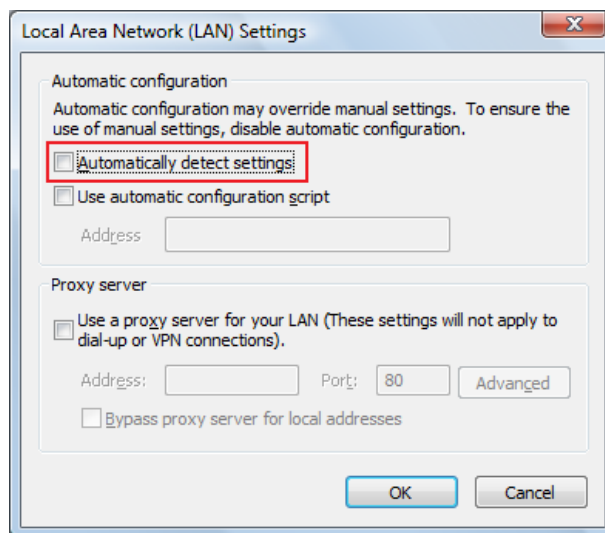
4.4 ログイン画面の表示に異常に時間が掛かってしまう

Internet Explorer の特定の設定をすると、Aras Innovator のログイン画面の表示に異常に時間が掛かる場合があります。現象として、その日一番最初にログインを実行すると、ログイン画面が白いまま画面の表示に 90 秒以上掛かることがあります。その後、2 回目以降は問題なくログイン画面がロードされます。

この問題の考えられる原因として、システムがネットワークのプロキシを自動検出するのに時間が掛かっていることが考えられます。ネットワークのプロキシを正しく設定することで接続のための無駄な時間を削減することが可能です。

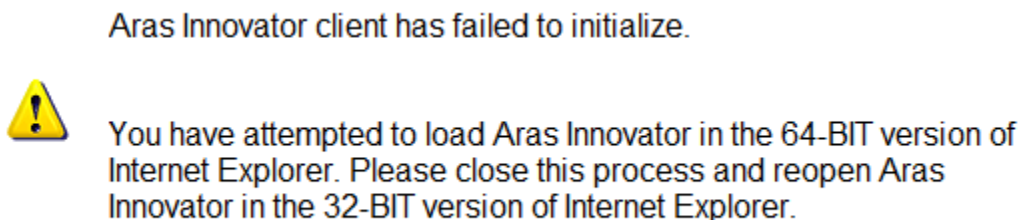
4.4.1 プロキシ自動検出の無効化

1. Internet Explorer を開く
2. ツール→インターネットオプションを選択
3. 接続タブを選択
4. LAN の設定ボタンをクリック
5. “設定を自動的に検出する” のチェックを外す



4.5 Innovator が 64 ビットの IE で読み込もうとする

ログイン画面が以下のようなエラーで読み込めない場合は、64 ビットバージョンの Internet Explorer が使用されていることを示しています。



Internet Explorer 9

Internet Explorer 9 では、64 ビットオペレーティングシステムで利用可能な 2 つの実行可能ファイルがあります。以下の Windows ディレクトリから "iexplore.exe" プロセスを読み込んでいることを確認してください。

C:\Program Files (x86)\Internet Explorer\iexplore.exe

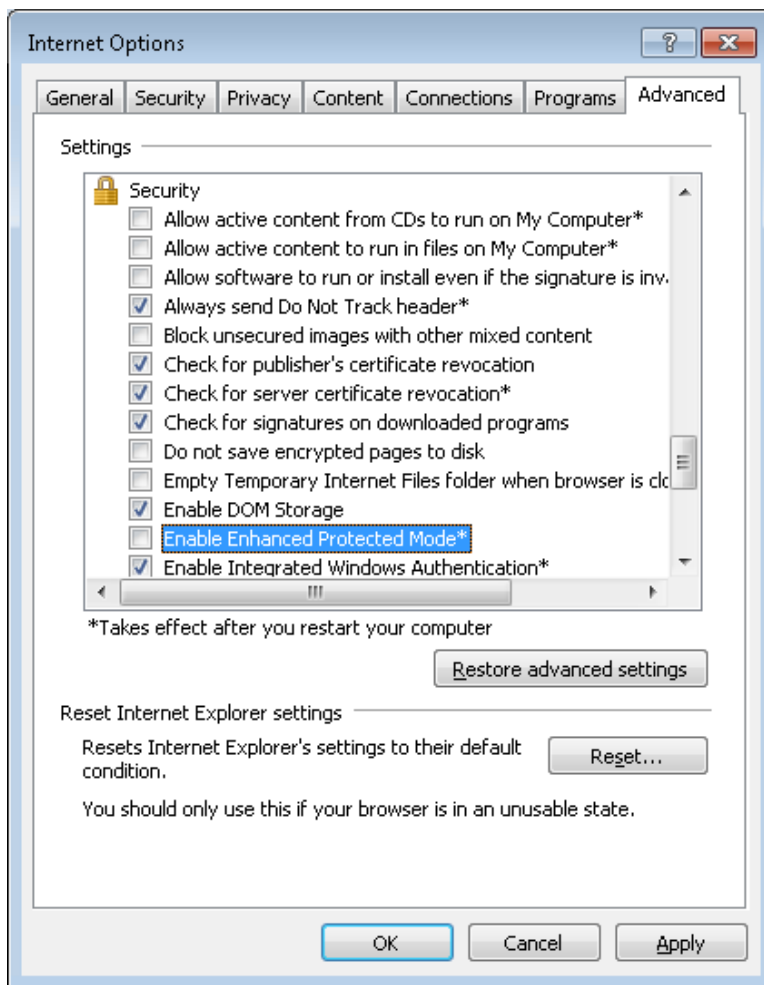
64 ビットバージョンの Internet Explorer を使用している場合は、ヘルプ→バージョン情報 で次のように表示されます。



Internet Explorer 10

Internet Explorer 10 では、メインの "iexplore.exe" プロセスは常に 64 ビット Internet Explorer で実行されます。次の設定によっては、Internet Explorer でのタブは、32 ビットまたは 64 ビットプロセスのいずれかを使用して実行されます。

"拡張保護モードを有効にする*" が無効になっていることを確認してください。変更した場合はコンピュータの再起動後に有効になります。



この設定に加えて、Internet Explorer のタブが 32 ビットの iexplore.exe のプロセスを使用して実行することを防ぐことができるレジストリエントリーがあります。次のエントリーが「0」の値が設定されていないことを確認してください。

`HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft\Internet Explorer\Main "TabProcGrowth"`

このエントリーが「0」の値に設定されている場合、「0」より大きいいくつかの整数値（例えば、「1」）に値を変更する必要があります。

この設定のさらに詳細な情報は、次の Microsoft KB の記事をご覧ください。

<http://support.microsoft.com/kb/2716529>



Appendix

ユーザーが Windows でタスクバーのボタンを“結合しない”に設定している場合、URL を隠してタスクバーにはより役立つテキストを表示させることができます。Aras Innovator の標準的なユーザーは複数のウィンドウを同時に開くことがあるので、この設定はタスクバーからそれぞれのウィンドウを識別するのに便利です。

URL を隠すには：

1. Internet Explorer を開く
2. ツール->インターネットオプションを選択
3. “セキュリティ” タブを選択
4. “レベルのカスタマイズ” ボタンを選択
5. “その他” の下の、“サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する” を有効にする

